

身近な子育て応援団

✿ 子育て支援センター「すくすく」

子どもを自由に遊ばせながら、子ども同士、親同士が友達になったり、育児の不安や悩みを語り合ったり、情報交換する場です。（*毎月のイベント情報は子育て情報誌「ういず」に掲載されています。市のHPからも閲覧可能。）

【開所日】月～土曜日 8時半～17時
【場所・問い合わせ】
伊都文化会館入口西側（前原東2-1-25） 092-321-0464

＜すくすく広場＞
月～土曜日 10時～16時

＜すくすく子育て教室＞
2歳児以上教室 1歳児教室 0歳児教室
いずれも月1回程度 10時～16時



✿ 保育所・幼稚園での子育て支援

保育園や幼稚園では、在宅で子育てしている方を対象にした教室や相談、園庭開放などを行っています。活動内容や日時などは各園にお問い合わせください。

- りんでん保育園（前原中央3-6-32） 092-323-3290
- アソカ幼稚園（前原東3-1-1） 092-322-2392
- 前原幼稚園（前原西4-5-25） 092-322-2676



近隣の直売所

●一番田舎

【場所】泊1410-1
（糸島医師会病院近く）
【営業日時】8時～17時半
毎週月曜定休
【電話】092-323-1140



●JA糸島産直市場 伊都菜彩

【場所】波多江567
【営業日時】9時～18時
正月定休
【電話】092-324-3131



●JF糸島 志摩の四季

【場所】志摩津和崎33-1
【営業日時】8時半～17時半
盆正月定休
【電話】092-327-4033



近所で気軽に農業体験！



前原校区には、気軽に農業体験できるように小區画に区切った畑の貸し出し（市民農園）があります。手塩にかけた植物が育ち、実際に食べるまでの過程を通じて、農業の楽しさや感謝の気持ちを実感することができます。

農ライフを
楽しもう！

●一番田舎ふれあいファーム農園（市民農園型）

直売所の一番田舎に併設し、広い駐車場もあります。有機野菜の作付指導なども行っています。

【場所】泊1410-1他
【区画数】58区画（24㎡/区画）
【利用料】12,000円/年
【問い合わせ】092-323-1140

※市民農園型…利用者自らが種苗、肥料、農具などを用意し、栽培計画や耕作を行うもの。



市内を巡る暮らしに便利な交通MAP！

JRやバスなどの市内公共交通機関の路線図、時刻表を掲載した「分かりやすく」「使いやすい」、糸島市公共交通ガイドをご活用ください！



地域のとびき〈前原校区〉

発行：糸島市コミュニティ推進課 ☎ 092-332-2062 （*令和4年4月作成）

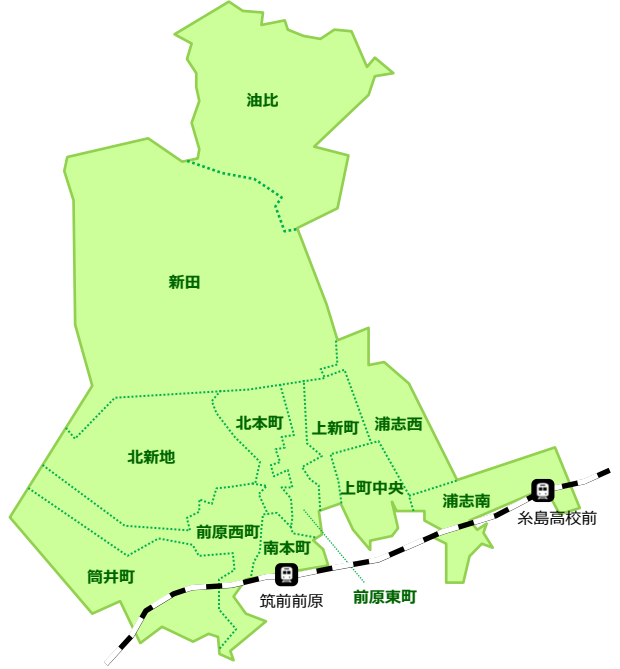
地域
の
と
び
き



前原（まえばる）校区



前原（まえばる）校区



基本情報

- **最寄駅**：JR筑前前原駅、糸島高校前駅
- **人口**：12,152人
- **世帯数**：5,346世帯
- **行政区名**：浦志西（うらしにし）

浦志南（うらしみなみ） / 油比（ゆび） / 新田（しんでん）
 上町中央（かみまちちゅうおう） / 上新町（かみしんまち）
 前原東町（まえばるひがしまち） / 北本町（きたほんまち）
 南本町（みなみほんまち） / 前原西町（まえばるにしまち）
 北新地（きたしんち） / 筒井町（つついまち）

- **小中学校**：前原小学校 / 児童数712人・学級数27
 前原西中学校 / 生徒数730人・学級数30

※人口・世帯数は令和4年3月末、小中学校の情報は令和3年4月末現在

◆校区・行政区とは？

糸島市には小学校が16校、中学校が6校あり、小学校の通学範囲を「小学校区（校区）」といいます。また、市からの連絡文書の配布・回覧など市政の円滑な運営を図るため、市域を164の「行政区」に分けており、各行政区内では自治組織（自治会・町内会）が形成されています。主に小学校区・行政区単位で、お祭り、伝統文化の継承、清掃活動、安全パトロールなど、安心して住みよいまちづくりのため、様々な地域活動が自主的に取り組まれています。特に、大規模災害など、いざというときに頼りになる「地域のきずな」を大切に、地域住民の連帯意識の向上に努めています。



◆自治組織に加入するには？

加入は、お住まいの地域の自治会長に申し出てください。お住まいの自治会長がご不明なときは、糸島市コミュニティ推進課（092-332-2062）までお問い合わせください。新しいまちでのコミュニケーションの第一歩として、住みよい地域づくりのために様々な活動を行っている「自治組織（自治会、町内会）」に加入しましょう！

※自治組織によって金額は異なりますが、地域交流活動や環境保全活動費等として、自治会費や入会費を納める必要があります。詳しくは自治会長へお問い合わせください。



上 / 丸田公園 下 / 前原山笠

ここが前原校区の特長！

前原宿

（まえばるしゅく）がかつてあった前原校区。唐津街道が横断し、関所もあったため、行政機関や商店街など、糸島の中心として人が集まり、発展してきた地域です。最近新しいマンションが増えたこともあり、住民が増え続けており、人口も波多江校区に次いで2番目。古くて新しい、ぬくもりのある街です。

◆主要な公共施設の立地

糸島市役所をはじめ、伊都文化会館、伊都郷土美術館、子育て支援センター、図書館、消防本部、警察署などの公共施設が集中した地域です。休日夜間急患センターもあり、夜中でも診療を受けられるので安心です。

◆前原夏祭り・前原山笠

毎年7月24日と25日は、前原夏祭りが行われます。昼間は前原地域の9行政区がそれぞれみこしを出し、「オイサツ、オイサツ」の掛け声とともに、勢い水をあびて町内を駆け巡ります（前原山笠）。24日は火伏（ひぶせ）地蔵、25日は老松神社の祭礼として昭和10年代から続くお祭りで、最近では九州大学の学生や留学生などの参加もあり、新たな交流が生まれています。



◆老松神社 追儺祭〈鬼すべ・うそ替え〉

「追儺祭（ついなさい）」は、毎年1月7日に行われる老松神社の祭礼です。厄年の男が鬼に扮し、町中の厄を集めて災厄を払い除きます。「鬼じゃ、鬼じゃ」と威勢よく町中を練り歩き、子どもたちは鬼に頭を撫でてもらいます（鬼すべ）。鶯（ウソ）が嘘（うそ）に通じることから、前年にあった災厄・凶事などを嘘とし、本年は吉となることを祈念して、木うそを新しいものと交換する「うそ替え」も行われます。



◆ぬくもり文化祭

毎年秋には「ぬくもり文化祭」が開催されます。会場となる前原小学校や前原コミュニティセンターでは、ステージ・バザー・展示等が行われ、最後は餅まきで盛り上がります。

◆スポーツ大会で地域交流

行政区対抗で行われるビーチボールバレー大会、ソフトボール大会、子ども球技大会等のスポーツ大会は毎年熱戦となり、見ている方も応援に力が入ります。日頃あまり面識のない住民とも交流でき、地域で生活している事を実感する楽しいイベントです。冬場には、東風校区と合同で2校区駅伝大会も開催され、他校区との交流も行っています。



◆丸田公園・丸田池公園

糸島市役所の東側にある丸田公園は、ブランコ・すべり台・シーソー等の遊具もあり、子ども連れに人気です。市役所北側の丸田池を囲む丸田池公園は、池に沿ってウォーキングコースがあり、のんびり散歩をしながら春は桜も楽しめます。1年を通してさまざまなイベントが開催されるほか、冬にはイルミネーションが点灯されます。

移住者の声

日常生活がしやすい地域だと思います。福岡市へも30分程度で行けますし、JR、高速バス、車などいろんな交通手段があって便利です。山笠に力を入れている地域で、子ども山笠に参加していい経験になっています。年1回、隣組での懇親会があり欠かさず出席しています。その他の行事は環境美化程度なので、それほど負担には思いませんし、地域の人とつながるのも楽しいです。可也山に沈む夕日は素敵ですよ。移住して10年経って、どんどん糸島が好きになりました。自分の住む地域をそんな風に思えるのはいいですね。

前原校区在住・40代女性

商店街や駅周辺に新しい風

江戸時代から昭和まで、多くの商店が立ち並び、今でもその面影が残っている前原商店街。最近では古い建物を活用したレストランやギャラリーの他、セレクトショップ、コーヒーショップ、フラワーショップ、ブックカフェ等が次々オープン。アウトドアショップやゲストハウスなど、これまでなかった業態も現れたほか、ショートフィルムフェスティバルが開催されるなど、空き店舗が徐々に再生しています。また、糸島観光の活性化につなげようと、九州大学の地域活性化サークル「iTOP（アイトッ）」のメンバーが自動三輪車「トックトック」のレンタルに挑戦したり、ギャラリーの運営を行ったりと、前原に新しい風が吹き始めています。

前原の散歩に便利なマップ「前原歩帖」